

## 最近の国の動向

## 中長期ロードマップ

H22.3.31 地球温暖化対策に係る中長期ロードマップの提案（環境大臣小沢鋭仁試案）

- ・2020年に25%削減、2050年に80%削減するための対策・施策の道筋を提示。
- ・温暖化対策を、新たな成長の柱と考えることが重要。低炭素社会構築により市場・雇用の創出、地域の活性化、エネルギー安全保障の確保を目指す。

## 地球温暖化対策基本法案

H22. 3.12 地球温暖化対策基本法案の閣議決定

H22. 6.16 通常国会（第174回）で審議未了により廃案



H22.10. 8 第176回臨時国会への再提出が閣議決定

H22.10.13 国会（衆議院）に提出

## 排出量取引制度

## 環境省

H22.4.23～ 中央環境審議会地球環境部会国内排出量取引制度小委員会にて議論  
（H22.11.01 第14回開催）

## 経済産業省

H22.6.10～ 産業構造審議会環境部会地球環境小委員会政策手法ワーキンググループ  
（H22.10.25 第7回を開催）

## 今後の予定

H22.11.29～ COP16（国連気候変動枠組み条約第16回締約国会議）開催  
（メキシコ・カンクン）

- ・2013年以降の次期枠組みについて議論

H22.10.4～9 COP16前に行われた特別作業部会（中国・天津）の結果

- ・先進国側に京都議定書第二約束期間の設定、高い排出削減目標や資金支援等を求める途上国と、全ての主要排出国が参加する法的拘束力のある国際枠組を目指す先進国が対立